

## 公立、公的医療機関等の具体的対応方針の再検証の見直しを求める意見書

いまだ収束していない新型コロナウイルス感染症とのたたかいの中で、私たちは、新型コロナウイルスの恐ろしさを目の当たりにし、感染を封じ込めることがいかに至難の業であるかを経験した。同時に、先進諸国と比較して、日本の医療従事者の人数も感染症ベッドも医療設備も脆弱であり、日本の医療は医療従事者の献身的な努力により、薄氷の上で成り立っていることが明らかになった。

このような中で、国は昨年9月に突然発表したベッドの削減を前提とした「公立・公的医療機関等の「再検証」要請」について、未だ撤回も修正もしていない。また、その統廃合の基礎となる地域医療構想についても推進する姿勢を崩していない。私たちが新型コロナウイルス感染症とのたたかいのなかで学んだことは、「医療体制を強化させなければ、国民のいのちを守ることができない」ということである。

よって、国においては「公立、公的医療機関等の具体的対応方針の再検証」を、地域の実情に合った計画に見直されるよう強く下記のとおり要望する。

### 記

- 1 公立・公的医療機関等の「再検証」は、住民自治の原則に基づき、自治体及び地域住民の声を反映させながら医療提供体制の充実を進めること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和2年9月18日

広島県府中市議会